

がん抑制遺伝子 p53 及びその関連遺伝子に異常が認められるがんの新しい診断法と治療法の開発

1. 研究の対象

国立がん研究センター中央病院で「診療目的で採取された血液・組織などの医学研究への利用と、研究用採血へのご協力をお願い」に同意された患者さんの血液と組織（がん部と非がん部）を研究対象とします。

2. 研究目的・方法

研究の概要:

膵がんや悪性脳腫瘍などの難治がんを始めとして、いくつかのがんは致死率が依然として非常に高く、今後も重点的な研究が必要とされています。そこで、患者さんの血液中のタンパク質と腫瘍の遺伝子変異との関連を解析し、がんを早期に発見する事、新たな治療法を開発する事を目的に研究を行います。

研究の意義:

がん抑制遺伝子 p53 及びその関連遺伝子は多くのがんで異常が認められていますが、遺伝子異常を診断や治療に役立てる研究はまだ十分ではありません。更なるがんの早期診断法や治療法の開発は非常に大事であります。

目的:

がんの治療には早期発見が非常に重要です。しかし、現時点ではがんを早期発見できる診断法が十分に開発されているとは言えない状況です。そこで、がん患者さんの血液中のタンパク質とがん部の遺伝子変異を同時に調べる事により、新たな診断、さらには治療法の開発に役立つ基盤を構築することを目的とします。

研究期間:

研究許可日 ~ 2033 年 6 月 6 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

血液やがん組織から抽出された DNA・RNA あるいは蛋白質を用いて、がんの遺伝子の変異とタンパク質の発現を解析します。

4. 外部への試料・情報の提供・公表

「診療目的で採取された血液・組織などの医学研究への利用と、研究用採血へのご協力をお願い(包括同意)」により採取された試料を研究に用いますが、患者さんの検体や診療情報が

らは住所,氏名などは削除の上、新しく符号がつけられ(匿名化)、患者さん個人が特定されないやり方で研究が行われます。個人情報が出ることはありません。

5 . 研究組織

大木理恵子	国立がん研究センター研究所・希少がん研究分野
平岡 伸介	国立がん研究センター研究所・分子病理分野
島田 和明	国立がん研究センター中央病院肝胆膵外科
森実 千種	国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科
池田 公史	国立がん研究センター東病院肝胆膵内科
片上秀喜	帝京大学
山田 正三	国家公務員共済組合連合会虎の門病院
内野 眞也	医療法人野口記念会 野口病院
小嶋 基寛	国立がん研究センター東病院
池田 公治	国立がん研究センター東病院
伊藤 雅昭	国立がん研究センター東病院
間野 博行	東京大学医学系研究科

6 . 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045

東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター 研究所・難治がん研究分野

大木理恵子 TEL 03-3542-2511

研究責任者：国立がん研究センター 研究所・難治がん研究分野 大木理恵子

研究代表者

国立がん研究センター 研究所・難治がん研究分野 大木理恵子

-----以上